≪パーソナルカラー診断≫

1. パーソナルカラー診断＋クイックメイク＋コスメ付き　￥6000（60分）
2. ①＋ベストカラー診断　　￥10000（100分）

パーソナルカラーは、どのようなものかご存知でしょうか？

肌の色、髪の色、目の色をもとに、それぞれのパーソナルカラーが決まります。

パーソナルカラーを身につけることによって、自分の肌と、身につけるものの色の調和によって

顔色が明るく見え、より、自分の魅力と個性を引き出すことができます。

似合う色で、自分の外見の魅力をより魅力的に見せるほか、

自分に足したい魅力があると感じるときにには、

他のグループの色の印象や効果を取り入れることでイメージチェンジをすることもできます。

パーソナルカラーを知ることは、

セルフイメージアップ、モチベーションアップになり、

また、見る人の気持ちにも変化をもたらしますので、コミュニケーションにもとても大切です。

《似合う色を身につけた時のメリットは》

・肌の色が血行よく、明るく見え、健康的に見える

・ニキビが目立たない

・肌の透明感がアップする

・目力がアップ

・顔の輪郭がすっきりと見える

・実年齢より若く見える

《似合わない色とつけた時のデメリットは》

・肌の色が不健康に見える

・ニキビやシミが目立つ

・目の下のクマが濃く見える

・男性は髭剃りの跡が濃く見える

・目力がない

・若づくりに見えたり、老けて見える

パーソナルカラーの起源は、ドイツのデザイン学校「バウハウス」の色彩の教授ヨハネス・イッテンが、

生徒の外見と作品、好む色や素材から、

その人が好む配色や色彩はその人の外見的特徴と一致し、

その人の髪の色や目の色、肌のトーンによく似た色を美しいと感じる、

という理論を発表したことです。

それを４タイプに分類し、ドイツの四季になぞられて表現されました。

その後、アメリカで、60年代には政治家がこぞってカラーコンサルタントを雇い、

有権者に与えるイメージを戦略的に作り上げていきました。

ケネディとニクソンの大統領選が有名です。

80年代に入ると、個人のイメージコンサルタント業として、ビジネスで発展していきました。

そして、その後、日本に入ってきました。

日本では、主に、化粧品業界に取り入れられています

男性には、ビジネスの場で取り入れられています

沢山の色は大きく分けると

イエローアンダートーン→温かみのある肌色

ブルーアンダートーン→冷たい肌色

の二つに分類されます。

《イエローアンダートーン》・スプリング・・・明るく、キュートなイメージ

・オータム・・・大人っぽく、落ち着いたイメージ

《ブルーアンダートーン》・サマー・・・やさしくエレガント

・ウィンター・・・個性的でシャープ

４タイプに分かれます。

例えば、

似合わないと思っていた赤でも、

たくさんの赤がありますので、その中から、似合う赤がありますので、それを見つけていきます。

着れなかった色が、着れるようになります。